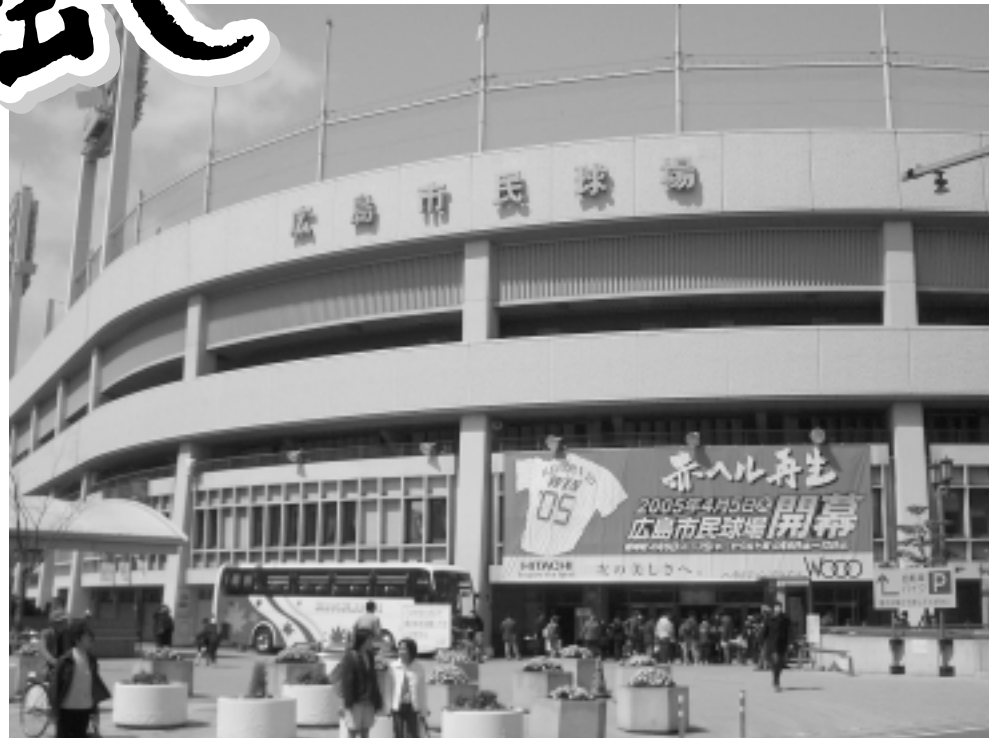




広島市議会議員  
母谷たつりのり

- 定例会
- 建設常任委員会
- 球場廃止条例は反対

# 薫風



建設の経緯とその歴史は市の重要文化財級

謹啓

野球シーズン真っ只中だというのに広島市議会では秋葉市長の提案した「旧広島市民球場条例の廃止について」という議案が残念ながら6月議会で可決成立しました。これにより、広島市は今年中の解体に着手することを表明し、跡地に折鶴ホール、市民広場、森のパビリオンなどを配する都市公園を整備する計画を発表しています。この中には商工会議所を現在地から東側の一角へ移転させることと劇場を整備するという不確定な要素も含まれています。

新球場移転後の跡地整備では**この地に年間150万人の賑わいを創出することが秋葉市長の公約**となっています。しかし、単なる公園整備や市民広場のイベントでこの公約が担保される保障はどこにもないと危惧する声が多く存在しています。

広島復興のシンボル、広島の誇り、広島の歴史をいとも簡単に壊すという発想が私には理解できません。もっと建設に至る経緯と原形を留める中での有効利用を考えて後世に継承していく方法を考えるべきだと思いますが、**秋葉市長の解体ありきという姿勢には疑問を感じます。**

秋葉市長は解体や跡地利用について市民との合意形成、説明が不足しているという議会の指摘を無視しています。拙速な解体があっては取り返しのつかないことになってしまうことは言うまでもないことです。菓子博開催を口実にするなどは言語道断です。

語り継がれるべきは原子爆弾の悲惨さと原爆ドームという負の遺産だけではなく球場建設によって平和で元気な街広島を築いていこうとした先人の心に想いをいたし、成長と発展を遂げた復興のシンボルを受け継いでいくことも大事なことだと思います。 謹白

## 定例会〈平成22年6月10日~22日〉

平成22年第3回定例会は13日間の日程で開催され、経済危機対策に伴う緊急雇用創出事業など9億5千202万1千円の補正予算案と条例案5件、その他の議案6件、専決処分4件の16件と10件の報告が行なわれました。

今定例会で最大の焦点は第53号議案「**旧広島市民球場条例の廃止について**」が大きな議論を呼びました。この議案について私はこれまで**拙速な解体には一貫して反対**しており、本年2月の第1回定例会では否決となった議案でした。

私は改めて提出されたこの議案について3日間の一般質問が終わった本会議での議案質疑で秋葉市長と論戦を交わしましたが、満足のいく回答は無く強引に解体を進めるというものでした。

その中で「予算と条例」がねじれ現象となっている点について質したところ秋葉市長から「完全な自己矛盾」との指摘を受けましたが、私は旧市民球場の解体費や若草町の再開発事業での40億円無利子融資が含まれた新年度予算案に賛成していないのでその指摘は全く当たらないと思います。

今議会では議会棟に連日、プラカードを持った市民団体が本会議場入り口や委員会室前に押しかけ旧市民球場の解体に反対する熱意を議員に訴えていました。

私自身も高校時代はこの球場で甲子園を目指していたことを思い起こせば感慨ひとしおであり、カーブとともに歩んだこの半世紀が如何に市民の心に根付いているかがこうした行動で伝わってきました。

## 建設常任委員会〈平成22年6月18日〉

第53号議案「旧広島市民球場条例の廃止について」はこの日の建設常任委員会に議案が付託され委員長を除く8人全員が賛成、反対の立場から質問、発言するという激論が交わされました。この議案の採決が行なわれるまでには6時間以上を要し、その熱気たるやすさまじい雰囲気の中で議論が行なわれました。私は建設委員会の委員ではありませんでしたが、この様子を傍聴席からずっと見守っていました。

採決は委員長を除く8人の委員によって行なわれました。結果は5:3で議案は委員会可決となりました。第1回定例会ではこの議案に反対していた**公明党、共産党**が揃って賛成したためで十分な理由や説明のないまま賛成に転じた態度表明は党利党略を優先させた都合主義がなせる業で議会人としてあるまじき行為です。

## 球場廃止条例は反対

かくして定例会最終日の22日には本会議での採決が行なわれました。18日の建設常任委員会における採決で議会情勢はすでに大勢が決していました。順を追って説明します。

**今春の第1回定例会(3月)で議会内の構図**は以下のようになっており、**議案は否決**されていました。

### 〈条例案に賛成〉

市民市政ク 6	市民連合 9	ひろしま未来ク 2	
爽志会 2			合計 19

### 〈条例案に反対〉

自民新政ク 9	ひろしま政和ク 9	公明党 8	共産党 5
爽志会 2	ひろしま未来ク 1	薫風会 1	合計 35

小計 54

以上が春の時点での状況ですが、このまま本会議になれば建設常任委員会での結果を踏まえ公明党、共産党を合わせた13票は条例案賛成に移動し過半数確保が確定的でした。

〈裏面に続く〉

私が直接  
ご返事します

あなたの声を聞かせてください  
いい汗流そう! いい笑顔つくろう!

ご意見  
ご要望は

# 母谷たつりのりホットライン

TEL.929-9002 info@motani.jp



何としても拙速な解体を避けたい反対派は自民新政クが21日の夕刻になって修正案を提出しました。解体賛成派が多数となったことで廃止条例が可決されるならばせめて夏休み期間中に生徒、児童の利用枠を拡大しようというもので条例の廃止日を8月1日から9月1日へ修正するという内容です。

当初は公明党、共産党の寝返りで原案可決が有力視されていました。当日、10時開会の本会議を前にした各派による党議の結果、共産党が修正案賛成に回るという迷走で一時は原案、修正案ともに過半数に達しないという状況が生まれました。しかしながら最終的に原案に賛成、反対の立場は大きく変化し修正案可決という結果になりました。本会議での態度表明は以下のとおりです。

《修正案賛成》

自民新政ク 9	市民連合 9	公明党 8	市民市政ク 6	
共産党 4 (病欠1)	爽志会 3	薫風会 1	合計 4	1

《修正案反対》

ひろしま政和ク 8	合計 8
-----------	------

《原案賛成》

ひろしま未来ク 2	合計 2
-----------	------

《採決棄権》

新保守ク 3	合計 3
--------	------

-----  
総合計 5 4

当初からは想像もできないような議会の結果になりましたが、私は議論してきた4年間、市民との合意形成なき拙速な解体と有効利用を求めて反対という立場を一貫して貫いてきました。

採決では苦渋の選択で修正案に賛成しましたが、解体に賛成したなどという気持ちは微塵もありません。表面的な結果だけでは分かりにくい修正案可決でした。**私の場合、これを解体賛成と受け取られるなら非常に心外です。**

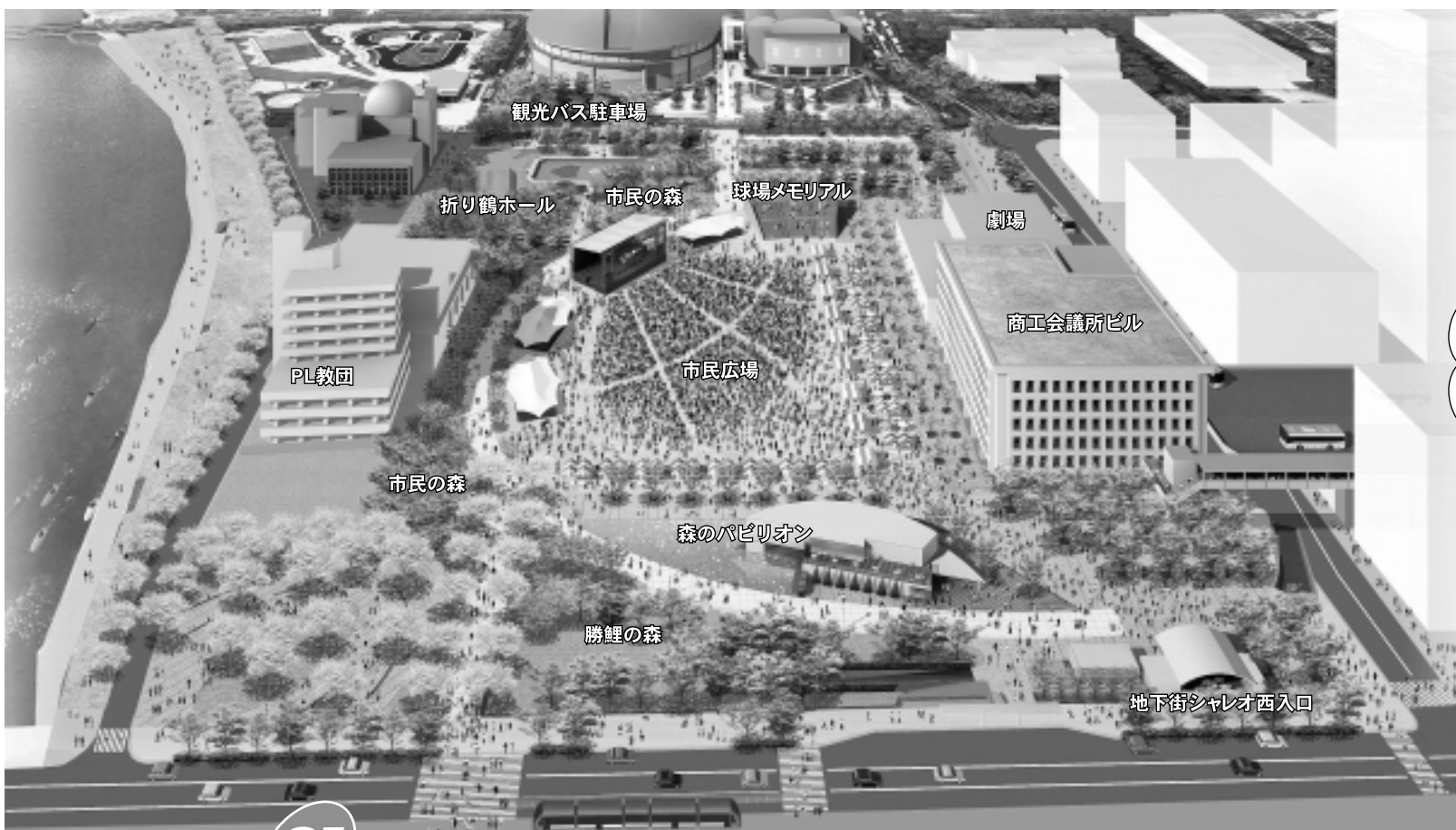
私は元々原案反対ですが、解体反対派が大勢にならないならばせめて利用枠の増える修正案に賛成したというのが本心です。そのため**私は修正部分を除く原案の採決では反対の態度表明**をしている事がそれを物語っています。(新聞記事には書かれていません)

旧市民球場の跡地利用計画は広島市の将来発展に大きな影響を与える大問題です。残念ながら議会では解体派が多数となってしまいました。広島大学の移転、広島空港の移転に次ぐ第三の失政にさせないためにも早急に市民の声を高めていく必要があると考えています。

《広島市の示した旧市民球場跡地の利用計画》

広島市の描いたイメージ図が6月1日に公表されました。イベントによる賑わいを創出するプランのようですが、年間を通して150万人の来場を確保し、経済効果の見込める演出を将来に亘って担保する内容は全く示されていません。(秋葉市長の公約)

また、原爆ドームのバッファゾーンとして不適切とされている商工会議所の移転は現時点で会員の総意として決議されていませんし、劇場建設についても誰が建設し、誰が運営するのかも決まっていな中でイメージ図だけが一人歩きしています。この公園がこれからの広島市に必要なんですかねえ。私は現在の観客席や照明塔などを有効に利用し、野球、サッカー、グラウンドゴルフなどのスポーツやコンサート会場としても使える施設にリニューアルした方が利用価値は高いと思うんですが・・・平和公園は二つもいりません。



原爆ドーム側から見た旧市民球場跡地CGパース

どうするんですかこの一等地に平和公園を拡充して...もったいない。もっと元気で賑わいのある有効な活用を!!



Challenge 21

母谷たつりの事務所

〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号 TEL.929-9002 FAX.927-7080 E-mail info@motani.jp

市議会 TEL.504-2227 FAX.249-4010

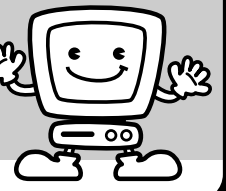
広島市議会ホームページ 検索

検索してね!

母谷たつりのホームページ 検索

http://www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/

http://www.motani.jp



「明るく、元気で、魅力ある広島」の実現!